



大和市立緑野小学校
学校だより 7月号



みどりの

令和2年6月30日

6月の学校生活風景

校長 稲葉 敦子

6月は、分散式登校から始まり、4週目から全員が登校できるようになりました。教室から子どもたちの声が聞こえてきて、ようやく学校らしくなりました。

分散式登校中は、人数も少なく、友だちとの関係もまだ始まったばかりですので、授業中はもちろんのこと、休憩時間もシーンとして、静かに過ごしていました。また、どのクラスも学習に集中して取り組む姿が見られ、これまで休んでいたことを取り戻すような勢いを感じました。学校図書館の本も貸し出しを行い、子どもたちが喜んで本を借りている姿を目にしました。分散中の自宅にいる日には読書に親しむことができたのではないのでしょうか。

全員登校になってからは、学級目標や係決めが行われ、学級としても始動しました。学級目標を決めるためにどんな話し合いをしているのか、廊下を通りながら耳を傾けてみると、「協力」や「思いやり」という言葉が聞こえてきました。新型コロナウイルスでは、ソーシャルディスタンスということで人との距離をとることに気をつけるようになり、お互いのかかわり方がこれまでとは変化してくる状況もあると思いますが、協力や思いやりを大切にしたいという子どもたちの思いが詰まった話し合いがもたれたことを嬉しく思いました。距離をとっても心は離れないようお互いを大事にして学校生活を送れることを願うばかりです。

登校が始まる中、保護者の皆様、地域の皆様には登下校の際児童の見守りをいただきありがとうございました。分散の時は、地区によって登校したりしなかったりと、見守りに立たれる日がまちまちでしたが、対応していただいて、無事に登下校することができました。また、休校中も温かい励ましのお言葉をいただき、大変心強く思いました。心より感謝申し上げます。

さて、教育委員会からの手紙にありましたように、明日より給食が始まります。午後の授業も開始し、寺子屋と放課後ひろばも始まります。感染防止の対策を取りながらですが、徐々に学校生活が戻りつつあります。子どもたちも、少しずつ学校に慣れてきて、最初の緊張もほぐれ、笑顔も多くみられるようになってきました。各県の感染者の様子を見るとまだ油断できない状況ですが、感染防止に努めながら教育活動が充実するようを進めてまいります。今後も引き続き毎日の検温と体調管理にご協力いただけるよう、よろしく願います。